

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

健康新聞

発行所 新健康協会
発行人

〒813-0001
福岡市東区唐原6-7-1
TEL:092-661-1531
https://shinkenko.jp



次の御論文は明主様が、昭和二十四年に発表されたものであります。
世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸いです。

真理の具現

そもそも宗教の真の目的は何であるかといえ、いうまでもなく真理の具現である。然らば、真理とは何ぞやという事であるが、真理とは勿論自然そのままの姿をいうのであって、これは何人も否定し得ないところである。東から太陽が出て西に沈むという事も、人間は生まれれば必ず死ぬという事、これは仏説のいわゆる生者必滅、会者定離という事であり、人間は空気を呼吸し食物を食う事によって生を営んでいるという事も、勿論真理である。こんな分かり切った事を言わなければならぬ程、人類社会の現状は出鱈目になつてきているからである。

つかないだけである。しかしながら、それは何がためであろうかをここに検討してみるのが、実は現代人は真理そのものさえも分からなくなつてきている。その第一は、生活問題の窮迫に頭脳は真理を考える余裕などなくなつていくからでもある。もつとも、肝心な宗教でさえ今日まで真理そのものがはつきりしなかつた。説こうとしても、ともすれば非真理に陥つてしまう事が多かつたのである。もし真理を真に説き得たとしたら、人類社会は現在のごとき深刻な苦悩の様相は呈しなかつたであろう。むしろ天国的楽土がある程度実現していたかも知れないと思う。然るに天の時來つて、ここに神の大愛の発現となり、私を通して真理を説くのみか、如実に真理の具現を遂行さるる事になつたのである。故に私が説くところの諸々の言説は、真理そのものを万人に最も分かりやすく宣示する以上、読む人は何物にも捉わるる事なく、虚心坦懐熟読玩味すれば、髣髴として真理は頭脳に浮かぶであろう。故に私はここに真理を最も簡単に説論してみよう。

最も手近なところから説いてみるが、人間が病気をするという事は真理にはずれた点があるからであり、それを治し得ない医学はこれまた真理にはずれているからである。政治が悪い、思想が悪いという事も、犯罪が増える、金詰まり、インフレ、デフレで苦しむという事も、真理にはずれているからである。もし真理にはずれていないとすれば、正しい事は人間の希望通りにゆくはずで、そのように人間社会を神が造られているのである。その結果理想的善美な社会が生まれ、人間は歓喜幸福の生活者となり得るのである。これ即ち私が唱える地上天国の実相である。このような訳であるから、私の言説には随分異なつた点があると思うであろうが、実はいささかも異なつてはいない。至極あたりまえの事である。異なつたと思うのは、非真理の眼で見るからである。私の説が異説と思えば思う程、社会の現実が異説的なたためである。故に私の説を異説と思えず肯定する人こそ、真理を体得した人といえよう。神は人間に対し無限の自由を与えている。これが真理である。人間以外の動植物には自由は与えられていない。ここに人間の尊さがある。然らば人間の自由とは何であるかという、人間向上すれば神となり、墮落すれば獣となるという両極端のその中間の位置に存在しているのが人間である。この理を推進する時こういう事になる。それは人間のやり方次第で、この世はいとも楽しい天国世界ともなり、その反対であればいとも惨憺たる地獄世界となる。これが真理である。とすれば人間は右のいずれを選ぶべきか、考えるまでもなく先天性の悪魔でない限り、前者を欲するのは当然であろう。

- 病気への不安なく 幸せで安心な日々
- 胃の激痛 浄霊で楽に
- 浄霊を知り 以前よりも元気に
- 体が右に傾く…原因不明の病気も良くなる

浄霊体験記

浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

病気への不安なく 幸せで安心な日々

小倉支部
安東洋志(59)



私は、三人兄弟の末っ子です。父が大手企業に勤務しておりましたので、兄達が幼少期の頃は、企業の病院にて検診、治療をし、過ごしていました。しかしある時期、上の兄に障がいがあることが判り、母親が、病院や医者に不信感を抱き、何か他に出来ることはないかと悩んでいました。

昭和三十六年頃、近所の会員（福島さん）が配布された健康新聞を母が読んで、浄霊を試してみようと思い、福島さん宅を訪ね、協会にご縁をいただきました。そのため、私は生まれた時から新健康協会で浄霊をいただきながら、今年還暦を迎えますが、大病や長く寝込むこともなく、幸せな毎日を過

ごしています。

幼少の頃は、風邪、麻疹、おたふく風邪等も、母に浄霊をいただき元氣になりました。また、小学校登校中に砂利道で転んで頭を石に打ちつけ、ケガをしましたが、その時も、浄霊をいただきました。ケガの状態を見ていた近所の方が翌日は元氣に遊び回っている私を見てビックリしていたそうです。傷口を縫うこともなく、おかげをいただきました。中学生で坊主頭になりましたが、傷口は綺麗に塞がっておりました。学生時代は、部活で野球をしておりまして、打撲、切り傷、捻挫等は、日常茶飯事でした。

ある日、部活ではなくクラスマツチのバレーボールで着地したときに激しく足首をひねり、捻挫してしまいました。小学校入学の時に新健康協会に入会をさせていただいておりましたので、浄霊を自分ですつとさせていたいただいておりました。帰宅後も母より浄霊をしっかりといただきました。最初は、一人で歩けない程でしたが、夜も痛むことなく眠れ、翌日は、足首が紫色に腫れ上がっておりましたが、ゆっくり一人で歩けましたので、学校へも行けました。一週間程度で腫れも引き、部活が出来るようになりました。度々、同じ場所を捻挫しましたが、その都度、捻挫の程度が軽くなり、最後はひねっても、痛みや腫れがありませんでした。

二十歳前半、社会人になりました、毎年二月の中旬頃から、目が痒くなり目尻が切れ充血し、また、後頭部のあたりに鈍痛がでると、鼻水が止まらず、不快な日々が続きますが、三月末には、元氣になりました。建設業に従事しておりますので、セメント等の材料関係に反応したのかなと思っておりましたが、二月中旬になると、毎年、

同じ症状が発症しました。後に花粉症と判りました。おかげ様で、浄霊をいただきながら、花粉症の症状は、年々楽になっております。花粉症は、年に一度の体の大掃除をしていたいていののだなと思います。体の毒素を花粉によって、体外に出していただいているのだと思います。

この毒素が出ることにより、体は元氣になります。これを新健康協会では、「浄化作用」と言っております。私は、排便の時は、下痢の時が多いのですが、腰が熱く重く、痛い時もあります。下痢が出ますと、腰、背中がスツキリし、楽になります。これも、毒素が出ているのだと思います。

御縁があったからこそ生かされた

現在、五年程になります。首の下からおへその辺りまで、湿疹が出ています。洋服を着ていると、湿疹が出ていることが判らず、日中は、あまり痒くなることはありません。夕方食事を摂ったあとぐらいいから痒くなります。が、日々生活や仕事には支障なく過ごせております。また、湿疹で体の毒素を出していただいて、一層、元氣にしていただけだと感謝し、日々過ごさせていただいております。妻も、日々大病をすることなく、また、息子も私と同じ様に生まれた時から、浄霊をいただきながら育ち、私以上に大きく、元氣に育ち、大学に進学し、大好きな野球を続け、頑張っております。家族皆、幸せで安心な日々を暮らせております。

明主様、誠に有難うございます。最後に、父が亡くなる前に、妻に話したことです。私が母のお腹に授

かった時に、墮ろすことを考えたそうですが、その時に新健康協会にご縁をいただき、考えを改め、私は、この世に生を受けたそうです。生かされた命に感謝し、一人でも多くの方に安心立命の日々を送れる明主様のお力をお伝えできればとお願いいたしております。（福岡県北九州市）

浄霊を知り 以前よりも元氣に

熊本支部
西岡ミチ子(71)

私が新健康協会に御縁をいただいたのは、昭和五十四年頃、夫の胃痛がいろいろ治療しても良くならず困っていた時に、知人から浄霊を紹介され元氣になったのがきっかけです。私も当時、息苦しさや疲れが酷かったので夫の勧めで浄霊をいただくようになりました。それまでは、病氣は薬や注射で治るものと思っておりましたので大変驚きました。支部では病氣は浄化作用で浄霊を続けていくと段々と元氣になること等を教えていただきました。当時、私の母親もリュウマチでたくさん薬を使用していましたが良くなりませんのでした。薬毒のことも段々と分かるようになり昭和五十五年の七月に入会させていただきました。

私は昨年四月二十日に自宅庭のコンクリートの上で転んで左手首を強打しました。又左脇腹と両肘も打撲してしまいました。すぐに浄霊をいただきましたので痛みも我慢できましたが、手首がパンパンに腫れ動かせませんでした。整骨院に行きましたら、左手首と

甲の一部が骨折しているとのこと、病院での手術を勧められましたが、手術はしたくなかったのでお断りしてギブスで固定していただきました。その後、毎日続けて浄霊をいただきましたので、日に日に楽になり夜もぐっすり眠ることができました。又骨折前は首肩の凝りが酷く気分の悪いことが多かったのですが、骨折を機に続けて浄霊をいただくことが出来ましたので、肩凝りも取れ以前より元氣にならせていただきました。

私は昭和五十五年七月より今日迄数々のおかげをいただいて無医薬で過ごすことができています。まだ浄霊を知らない方、是非体験されたいです。誠に有難うございました。（熊本県上益城郡）

浄化作用ってどういうこと？

人間には体内の毒素を排除して健康を促進しようとする働きがあります。例えば、カゼの場合、蓄積してきた不純物や体外から入ってきた毒素を浄化するために熱や痛みが出ます。そして、その結果ハナやタンなどが出て体の中が掃除され、霊・体共に清浄化されます。その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、体の不調和を調和させる大切な清掃作用でもあるのです。

胃の激痛 浄霊で楽に

香椎支部
河野博史 (70)



私が新健康協会に御縁をいただいたのは、昭和三十年、私がまだ四歳の頃です。当時近所に住んでおられた会員（平井さん）に、母が導かれたことがきっかけで、母と一緒に香椎支部へ行くとようになりました。その時のことは今でもよく覚えています。その後、中学生になってから入会させていただきました。

私が四十一歳の時のことです。当時軽運送の仕事をしていましたが、昼食を食べるのもままならない程忙しく、缶コーヒーとタバコだけの毎日でした。このような生活でしたから、当然のように胃に負担がかかりました。その時の状態ですが、痛いという言葉さえ出せず、ただひたすら堪えることしか出来ない程の激痛で、それが二十四時間ずっと続き、約六日間、殆ど眠ることが出来ませんでした。これは後か

ら聞いたことですが、私の様子を知った近所の人は「もうダメかもしれないね」と話していたそうです。

私は激痛で動くことも出来ませんでした。支部の方に自宅へ出張していただき浄霊をいただきました。その際、支部の先生から「大丈夫だから、しっかりと頑張らなさい」と励まして下さいました。そして妻が何度も浄霊をしてくれました。私自身も浄霊を信じておりますので、なんの恐怖も無く痛みをこらえていました。その間、食べ物は何も論、水一滴も喉を通りませんでした。そんな時、支部の先生が香椎支部の井戸水を持ってきて下さり、「この水は神様の水だからきつと飲めるはず」と言われ口に含んだところ喉をすつと通りました。そのあと吐き気を催したので洗面器を持って来てもらったところ、いきなりコールドタオルのような真つ黒いドロツとした物が洗面器八分目ほど出ました。この支部のお水が呼び水となって、体の中の汚い物が出たのだと思ひ、感謝申し上げました。それから胃の痛みも少しずつ治まって来ましたが、今度はそれまで痛みをこらえていた全身の筋肉が痛み出しました。この時も浄霊をいただき、四、五日で痛みも治まりました。その後は柔らかな桃などを食べながら、徐々に起きられるようになり、支部へ浄霊をいただきに行けるまでに快復しました。

おかげ様で、胃が痛み出してから一カ月半ほどで普通の生活が出来るようになりました。この様な大きな浄化をいただき、命の継ぎ足しがいただけたいことを、心から感謝申し上げます。一人でも多くの方が、この協会に御縁をいただかれることを心から願っております。

明主様、誠に有難うございました。
(福岡県福岡市)

体が右に傾く… 原因不明の病気も良くなる

アメリカ・ロサンゼルス支部
ジェリー・ブライアント (67)



私は二十年近く、週に二、三回支部に行き浄霊をいただいています。そのおかげで特に大きな病気もなく毎日元気に過ごしていました。

ところが二〇一八年十二月の暮れ、私は今までに経験したことのない症状に見舞われました。

夜トイレに行こうと思ひベッドから出た時に体が右に傾き倒れ込みました。その後まっすぐに立とうとしても、どうしても体が傾き、支えなしでは立つこともできませんでした。具合が悪いか、めまいがするとかではなく、ただ体が無意識のうちに右側に傾いてしまひ、気がついた時には立て直しがきかないところまで傾き、そのまま倒れてしまうのでした。その時一緒にいた友人が、ただ事ではないと心配し私を病院へ連れて行きました。

病院に三泊し、あらゆる検査をしましたが、医者は原因が分からないと言いました。血圧もコレステロールも正常、脳にも骨にも異常なし…医者も首

をかしげるばかりでした。それなのにステロイドや色々な薬を投与しようとするので「ちよつと待って、原因も分からないのになぜステロイドのような強い薬を患者に与えることができるんですか？私は原因が分からないうちにはどんな薬も摂ることはできません。原因が分からないのならここにいても仕方ないので家に帰してください」と言つて帰宅しました。

座るときも体を前かがみにして座れば問題ないのですが、まっすぐに体を起こすと段々と右に傾き倒れてしまうのでした。すぐに支部に電話をし、家に来てもらつて浄霊をいただきました。その後支部の人が毎日来て下さり、おかげ様で五日後には普通の生活が出来るようになりました。

最初は万が一の為に杖を使って歩いていましたが、五日目にはそれも必要なくなりました。原因が分からないと言われた時は心配になりましたが、支部の方が「弁護士という職業柄、頭を良く使うので時々浄化作用が必要なんです。しっかりと浄霊をいただいで、心身共に清まらましよう」と言われ、安心することが出来ました。この経験を通して改めて浄霊の素晴らしさに感謝の念が湧きました。

医者が診断も治療も出来なかった不思議な症状のために何日も入院させられて以来、週に二、三回支部で浄霊をいただいでいます。私は二十年以上週に一度は必ず支部に行つています。

あれ以来、二年間何度か同じような不思議な症状に見舞われましたが、この発作の間すぐに、そして何度も浄霊をいただいたおかげで、どれも二〇一八年の時と比べ症状もかなり軽く、一日もかからず楽になりました。浄霊がすぐに元気にしてくれるおかげで仕事や生活は、中断されること

も影響されることもありませんでした。私が朝一番と夜の最後にすることは明主様にいつもいただいでいる御守護への感謝のお祈りをする事です。それは一日たりともかかしたことはありません。

浄霊を知らない方には心身共に清まれば病気も楽になる…なんていう話は意味が分からないかもしれませんが、もし心や体に何か悩みがある方はぜひ近くの支部を訪ねて浄霊を試してみたいと思ひます。理屈ではなく、体験することで浄霊の力が分かると思ひます。

明主様、誠に有難うございました。
(アメリカ・カリフォルニア州)

浄霊

浄霊は大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。

芸術を楽しむ理由

美の殿堂へ

3 vol.

聖地に美の世界をつくる
新健康協会が伝えたい
芸術鑑賞のススメと
楽しみ方について



「晴明会館」は、教祖・明主様（岡田茂吉師）を信仰する新健康協会の聖地に「美の世界」を実現する信念のもと、1987年（昭和62年）に開館いたしました。

当館には、数多くの「日本画」を収蔵しております。

その中の代表作は、「絵巻伊曾保物語」。私たち日本人にとってもなじみ深い西洋のイソップ物語は、約400年前に日本に伝来し、日本語に訳されて絵入りの物語として世に知れ渡りました。当館に展示されている「絵巻伊曾保物語」は、現在日本に残るきわめて貴重な作品であり、当館の重要な所蔵品のひとつです。

日本画は、岩絵の具や和紙など自然の素材を用いる芸術です。その主題や表現においても自然の美しさや季節感などを尊び、自然と共に生きる中で培われてきた日本の伝統的な美の感性が一つひとつに秘められています。

日本画ならではの日本文化の素晴らしさを伝え、拝観された方々に喜びや安らぎをもたらすことのできる美の殿堂を目指してまいります。

手に入れたのは
**健康な心と
健康な体**

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする事ができます。

みやもとむさし 宮本武蔵

《破墨山水》

桃山時代末から江戸時代にかけて活躍した剣豪、宮本武蔵。数々の伝説に彩られた人生とその名はあまりにも有名です。史実として分かっていることは意外と少ないようですが、四〇〇年の長きにわたって伝記、歌舞伎、浮世絵、小説、映画、漫画といったさまざまな創作の源泉になっており、そのこと自体、武蔵が強い引力をもった人物だったことの現れだと言えます。晩年自ら書き残した『五輪書』によれば、天正十二（一五八四）年、播磨の生まれ。十三歳から二十九歳までに六十回以上の勝負に挑み、全てに勝ったという無敵の剣士です。

勝負の中で最も知られているのはやはり巖流島での佐々木小次郎との一戦でしょうか。この巖流島での決闘あたりから、武蔵は九州諸藩との関わりが増えたように見えます。特に決闘の

頃小倉藩を治めていた細川家、そして養子の宮本伊織が仕えていた明石の小笠原家とは縁深く、小笠原家はのちに小倉藩に入ることになるほか、小倉藩主の甥が中津藩主となり、武蔵はその中津藩主小笠原長次の後見として島原の乱に出陣しました。

寛永十七（一六四〇）年、武蔵は熊本藩主の細川忠利に招かれて熊本に移ります。すでに良くしていたとはいえ、残された画の多くは後半生、手厚い待遇で迎えられたこの地で描かれたといわれており、ひよっとするとこの《破墨山水》も熊本で手掛けられたかもしれません。「破墨」は墨を重ねて滲ませたり、ぼかしたりして複雑な諧調を得る手法のこと。本作も淡い墨面と重ねられた濃墨とによって神秘的な光景が現出しています。

山水画が目指してきた、純粹な筆の運びによって聖なる山岳、渓谷を描き出す境地は、剣で目指す境地と通じるところがあつたのでしよう。没後まもなく出版された仮名草子に「画筆の名人」と評されていたそうで、早くから画家としての側面が知られていたことが伺えるとともに、画という形あるものが残されていたからこそ、技術と精神性を併せ持つ剣士として名を高められたのではないかと、説得力をもったのではないかと、思われます。戦を経て徳川

の幕藩体制が築かれ、そして安定に向かうという、環境も価値観も激動する時代に、身一つで各地を渡り歩いて生きることができた要の才能だったと思えます。

解説 松田愛子



晴明会館

「背景に九州」後期展
期間…1月7日(金)～5月18日(水)
※晴明会館お問い合わせ ☎092(661)1535

健康新聞についてのお問い合わせは
(092)661-1531まで